

長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

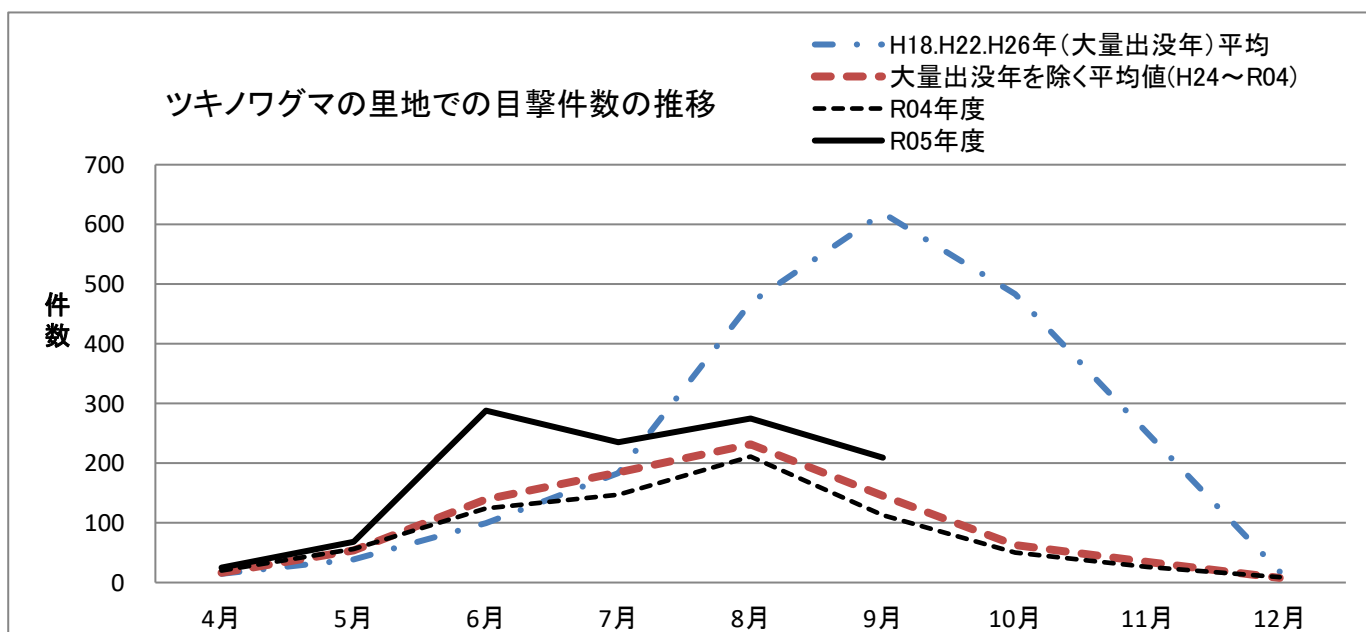
長野県林務部鳥獣対策室

ツキノワグマの里地での目撃件数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月-3月	4-3月計	人身被害件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	-	3,362	16(18)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	-	1,591	14(14)
H24	8	31	84	176	325	286	89	21	0	-	1,020	7(7)
H25	14	41	84	89	147	85	12	4	0	-	476	3(3)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	-	1,575	31(32)
H27	25	47	134	142	177	37	12	8	0	0	582	6(6)
H28	12	60	137	163	171	118	87	31	6	1	786	9(9)
H29	11	20	91	151	152	128	22	20	3	2	600	6(7)
H30	22	92	183	158	182	55	23	18	9	7	749	5(5)
R01	18	64	196	291	334	207	125	68	16	13	1,332	8(8)
R02	16	50	151	264	411	309	126	86	14	10	1,437	12(12)
R03	16	78	210	266	205	116	83	62	20	3	1,059	16(16)
R04	20	56	124	147	211	113	50	26	9	14	770	8(8)
R05	25	68	288	235	275	209					1,100	8(9)

※人身被害は林内での発生も含む。
網掛けのセルは大量出沒年。

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月累計	人身被害件(人)
H18. H22. H26年 (大量出沒年) 平均	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3(21.3)
大量出沒年を除く 平均値(H24~R04)	16	54	139	185	232	145	63	34	8	876	8.0(8.1)
R04年度	20	56	124	147	211	113	50	26	9	756	8(8)
R05年度	25	68	288	235	275	209				1,100	8(9)



・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。
・大量出沒年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。

～ツキノワグマの出没にご注意ください！～ 令和5年度堅果類豊凶調査結果をお知らせします

県では、ツキノワグマ（以下「クマ」といいます。）の秋期の主な餌となる堅果（どんぐり）類の豊凶調査を実施しました。

今年度の堅果類の結実、昨年度より少ないものの、県内全体では一定程度の結実が見込まれます。このため、秋冬にかけての全県的なクマの大量出没の可能性は低いと考えられますが、予期しないクマとの遭遇には、引き続き十分ご注意ください。

豊凶調査の総評

県内全体では一定程度の結実（過去3年間と同程度）が見込まれます。詳細については別紙をご確認ください。

クマ出没への影響

令和5年 秋冬

【全県】全県的なクマの大量出没の可能性は低いと考えられます。

【北部】ブナ、ナラ類の不作が見込まれるため、餌を求めて里地への出没が増える可能性があります。集落周辺を含めてクマとの遭遇に十分注意する必要があります。

令和6年 春夏

【東信・南信】ナラ類の結実が例年並みと見られ、クマの栄養状態が向上するため、一定の出産があると見込まれます。特に今期の出没が多い地域では、冬眠から目覚めた子連れグマとの遭遇リスクが高まる可能性がありますので注意してください。

令和5年度 クマの目撃件数及び人身被害件数（8月末現在）

里地での目撃件数 891件（前年同時期558件）

人身被害件数（人数） 7件（8人）（前年同時期5件（5人））

<https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/documents/r05kuma.pdf>

県民の皆様へのお願い

- クマは広範囲を移動するため、県内の森林のどこにでも出没し、人と遭遇する可能性があります。
- **一番重要なことは「クマに出会わない」**ことです。森林やその周辺で行動する時は、**複数人で行動したり、クマ避け鈴やラジオ等の音を鳴らしながら行動**するなど、人の存在を知らせることで、クマとの遭遇リスクを下げることができます。
- **朝夕の薄暗い時間帯や見通しの悪い藪がある場所**では、不意の遭遇に注意してください。
- 人里での餌を覚えたクマは出没を繰り返します。**カキやクリなど収穫しない果実や廃棄する農作物、生ゴミ、油脂類等は適切に処理**して、人里にクマを誘引しないことが大切です。
- クマは背を向けて走って逃げるものを追いかける習性があります。万が一遭遇してしまったときは、**クマから目を離さず、ゆっくりとその場を離れてください。**

※長野県ウェブサイト「ツキノワグマによる人身被害を防ぐために」を御参照ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/sangyo/ringyo/choju/joho/onegai/jinshin.html>

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0

～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)

担当 林務部森林づくり推進課
鳥獣対策室 塚平、豊森

電話（代表）026-232-0111（内線）3250
（直通）026-235-7273

FAX 026-234-0330

電子メール choju@pref.nagano.lg.jp

ツキノワグマの出没にご注意ください

長野県

- 令和5年度における里地でのクマの目撃状況
 - ・ 里地でのクマの目撃件数は、令和4年・3年の同時期より増加していますが、令和2年・元年の同時期よりは減少しています。
 - 令和5年9月末現在 1,100件 (R4.9月末 671件、R3.9月末 891件、R2.9月末 1,201件、R元.9月末 1,110件)
- 今秋・冬の出没見込み (R5.9.29 プレスリリース 堅果類豊凶調査結果)
 - ・ 秋以降のクマの出没は、どんぐり等の堅果類の豊凶が影響します。県内では、昨年度より少ないものの、過去3年間と同程度の結実を見込んでおり、里地にクマが「大量出没」する可能性は低いと考えられています。予期しないクマとの遭遇には引き続き注意が必要です。
 - ・ 県北部ではブナ、ナラ類の不作が見込まれるため、餌を求めて里地への出没が増える可能性があります。集落周辺を含めてクマとの遭遇に十分注意する必要があります。

県民の皆様へのお願

- クマは広範囲を移動するため、県内の森林のどこにでも出没し、人と遭遇する可能性があります。
- **一番重要なことは「クマに出会わない」**ことです。森林やその周辺で行動する時は、**複数人で行動したり、クマ避け鈴やラジオ等の音を鳴らしながら行動する**など、人の存在を知らせることで、クマとの遭遇リスクを下げるができます。
- **朝夕の薄暗い時間帯や見通しの悪い藪がある場所では、不意の遭遇に注意してください。**
- 人里での餌を覚えたクマは出没を繰り返します。カキやクリなど**収穫しない果実や廃棄する農作物、生ゴミ、油脂類等は適切に処理して、人里にクマを誘引しないことが大切です。**
- クマは背を向けて走って逃げて走って逃げるものを追いかける習性があります。万が一遭遇してしまったときは、**クマから目を離さず、ゆっくりとその場を離れてください。**